



NATIONAL
ARCHIVES

Office of the Chief
Records Officer for the
U.S. Government

NATIONAL ARCHIVES *and* RECORDS ADMINISTRATION

米国の公文書管理改革 「デジタルアーカイブズ」のこれからを創る

ローレンス・ブリュア CRM
NARA首席記録官

OFFICE of the CHIEF RECORDS OFFICER for the U.S. GOVERNMENT

1



Office of the Chief
Records Officer for the
U.S. Government

主な問いかけ

- 何が推進力となるか？
- どう改善していくか？
- 認識しておくべき課題は？
- どのように解決するか？

NATIONAL ARCHIVES *and* RECORDS ADMINISTRATION

2



Office of the Chief
Records Officer for the
U.S. Government

NARAとは

- 連邦政府における独立機関
- 職員数3000人、40か所の支局、地域センター等
- 予算3億5000万ドル
- 連邦機関文書の1~3%



首席記録官室

- 職員数90人
- 研修
- 監督
- ポリシー策定およびアウトリーチ
- 運用
 - ∞ 評価、スケジューリング、支援



Office of the Chief
Records Officer for the
U.S. Government

NARAとは

我々のビジョンは、アーカイブズを国民にとって身近な生きたリソースとすることにより、アメリカ国民と政府の関係を変えていくことである。このビジョンは、NARAが他の連邦機関や民間部門、国民と協働して情報（記録、データ、そしてそれらがいつ、どこで、どのように必要とされるかというコンテキスト）を提供していく機会と結びついている。我々はアーカイブズや情報の専門職をリードし、デジタル世界におけるアーカイブズの繁栄を実現する。

- 首席記録官の所属部署
- 具体性と技術性の重視
- 組織のミッションに不可欠な記録
- 資産の効果的なガバナンス
- 電子的な管理
- ユーザーに対する透明性

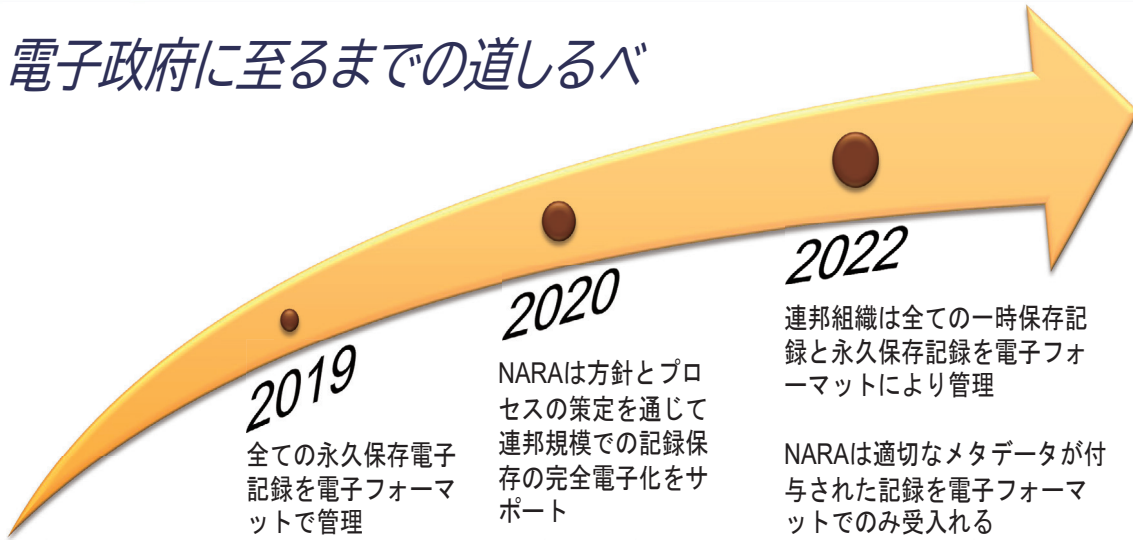




Office of the Chief
Records Officer for the
U.S. Government

何が推進力となるか

電子政府に至るまでの道しるべ



Office of the Chief
Records Officer for the
U.S. Government

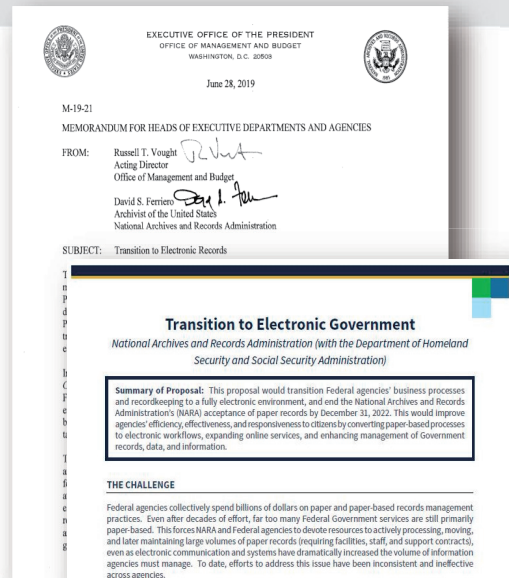
何が推進力となるか

政府改革計画(2018年6月)

行政管理予算局(OMB)/NARA

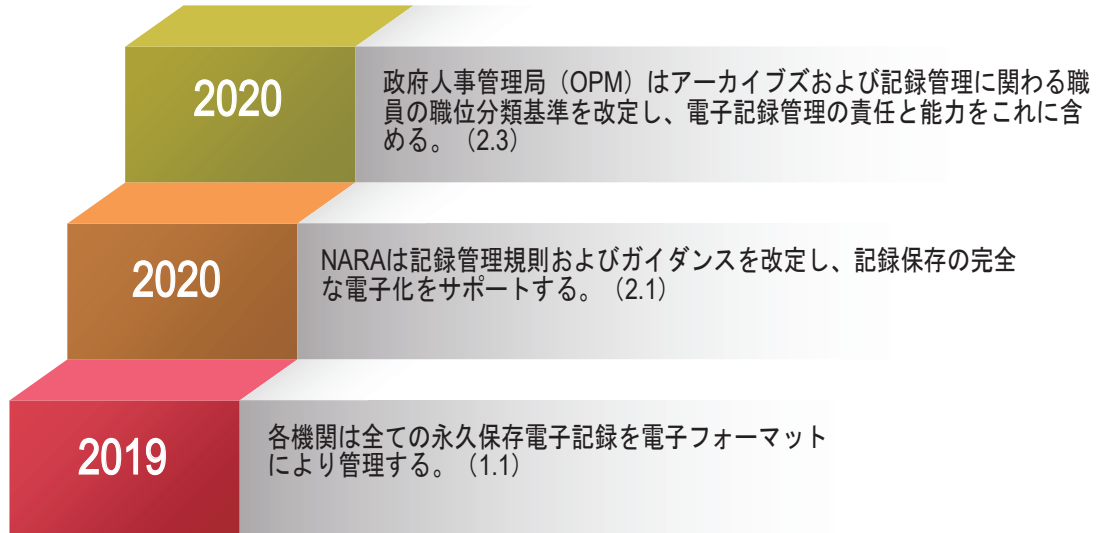
電子記録への転換

(M-19-21)

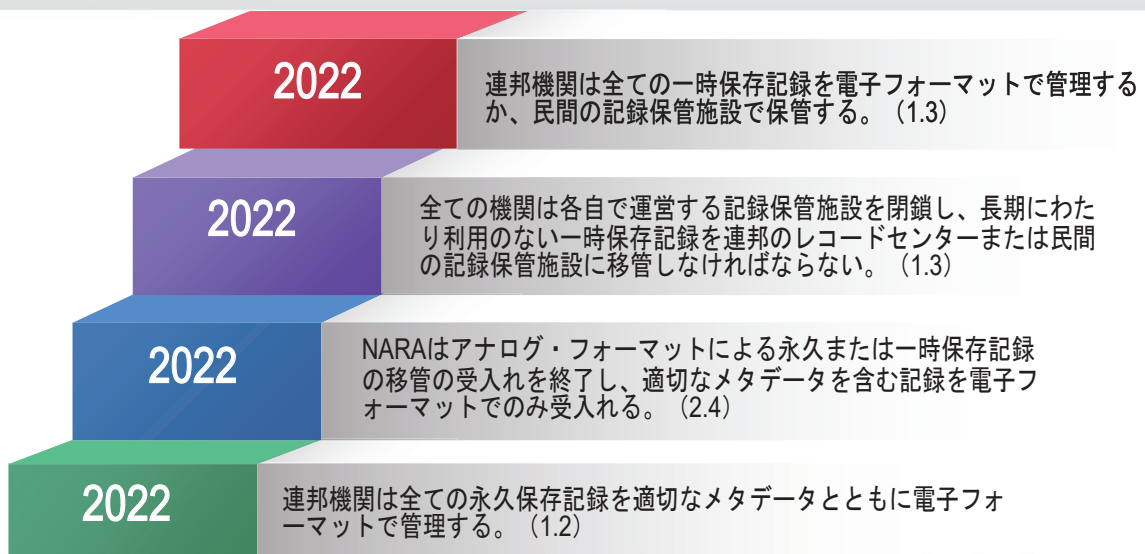




転換に向けたターゲット



転換に向けたターゲット





電子政府化の推進

一連の指令や目標はデジタル化への改革をどのようにサポートするか？

- 変革に向けての明確な道筋を設定
- 電子化しなければならない対象の範囲を拡大
- 各機関の期待を実現し、国立公文書館の関わりを促進
- アナログおよび電子的な管理の二重のプロセスからの転換を開始
- 革新的な解決策やツールの開拓の促進



見込まれるメリットは？

近代化に向けた原動力の維持

- 情報の扱いやすさ、使いやすさの向上
- クラウド、電子ワークフロー、記録管理の統合へ向けた転換

透明性と公開性に対する期待向上

- 国民が関わる機会増大
- NARAの業務に対する関心と注目の向上
 - 1) 報告データ
 - 2) 監査報告
 - 3) レコード・スケジュール





我々の課題は？

- リソース！
 - 必要な技術的ソリューションを調達、実施、維持するためのコスト
 - 大部分の機関における記録管理に関わる人材不足
- 膨大な量のレガシー記録(陳腐化した記録媒体)の存在
- 次の段階に向けての必要なスキルと研修の不足
- データおよびフォーマットの量と複雑性の増大
- 完全な電子政府化の実現を推進するための近代的インフラの構築
- 上級管理者のサポートおよび戦略的リーダーシップの確保



課題の解決策は？

- IT、データ、プライバシー、情報自由法、CUI(管理された非格付け情報Controlled Unclassified Information)、法務など、各組織の情報管理専門職との連携
- 記録・情報管理に関する項目を方針、手続き、管理に含めるなど、情報ガバナンスの枠組みへのテコ入れ
- 外的な推進要因や複数組織にまたがるイニシアチブに注目
- 他の組織と共通のツールやソリューションを意図的に協働して開発
- プログラムのために自ら声を上げ、ビジネスケースを打ち立てて資源を確保
- 自己啓発を怠らない—不安材料を探し出す！



Office of the Chief
Records Officer for the
U.S. Government

リソースおよび問い合わせ先

Records Express—NARAの公式ブログ

<http://blogs.archives.gov/records-express/>



NARA記録管理ウェブサイト

<http://www.archives.gov/records-mgmt/>

ローレンス・ブリュア、CRM

Laurence.Brewer@nara.gov